

令和4年度上下水道部関係事業の決算概要

1 工業用水道事業

(1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	3,130	3,069	61	-	-
	支出	6,850	6,585	265	-	265
	差引	△3,720	△3,516	-	-	-
資本的収支	収入	611	447	164	-	-
	支出	1,298	1,173	125	0	125
	差引	△687	△727*	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額727百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため、差引等と一致しない場合がある(以下同じ)。

(2) 経営成績(損益計算書)

給水収益の減少などにより収益が減少したこと、電気料金の高騰などに伴う維持管理費の増加や、大口受水団体の受水廃止により減損損失を計上したことなどにより、当年度純損失は3,552百万円となり、前年度の純利益と比較して3,857百万円の減少となった。

(単位：百万円)

区分	令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益 a	2,597	2,529	△68
うち給水収益	2,077	1,856	△221
うちその他営業収益	520	673	153
営業費用 b	2,412	2,646	234
うち維持管理費	1,629	1,884	255
うち減価償却費	774	752	△23
営業損益 c=a-b	185	△117	△302
営業外収益 d	218	198	△20
営業外費用 e	108	98	△9
経常損益 f=c+d-e	295	△17	△313
特別利益 g	10	88	78
特別損失 h	0	3,622	3,622
当年度純利益 f+g-h	305	△3,552	△3,857
総収益 a+d+g	2,825	2,815	△10
総費用 b+e+h	2,520	6,366	3,847

### (3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、減損処理に伴う有形固定資産の減少などにより、前年度に比べて4,571百万円減少した。

負債は、未払金及び企業債の減少などにより、1,020百万円減少し、資本は、当年度純損失を計上したことにより、3,552百万円減少した。

（単位：百万円）

区分		令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
資産の部	固定資産	18,711	14,672	△4,039
	うち有形固定資産	18,549	14,526	△4,023
	うち無形固定資産	162	146	△16
	流動資産	4,418	3,886	△532
	うち現金・預金	3,995	3,391	△604
資産合計		23,129	18,558	△4,571
負債の部	固定負債	9,557	9,145	△412
	うち企業債	8,703	8,411	△292
	流動負債	1,705	1,277	△428
	うち未払金	910	534	△376
	うち企業債	640	652	12
	繰延収益	1,921	1,741	△179
負債合計		13,183	12,163	△1,020
資本の部	資本金	7,258	7,631	374
	剰余金	2,689	△1,237	△3,926
	うち資本剰余金	622	622	0
	うち利益剰余金	2,067	△1,859	△3,926
	うち未処分利益剰余金	2,067	△1,913	△3,979
資本合計		9,946	6,394	△3,552
負債・資本の合計		23,129	18,558	△4,571

### (4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は99.4%で、健全経営の水準とされる100%を下回った。これは、給水収益の減少や電気料金の高騰などに伴う維持管理費の増加のためである。

同様の理由により、料金水準の妥当性を示す料金回収率は94.5%で、給水に係る費用が給水収益を上回った。

（単位：%）

区分	令和3年度 A	令和4年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	111.7	99.4	△12.3
料金回収率※	109.7	94.5	△15.2

※管理受託に係る費用を除いて計算したもの

## 2 水道用水供給事業

### (1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	11,577	11,576	0	-	-
	支出	10,367	9,792	575	-	575
	差引	1,210	1,785	-	-	-
資本的収支	収入	2,047	1,801	246	-	-
	支出	7,063	6,235	828	0	828
	差引	△5,016	△4,434*	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額4,434百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

### (2) 経営成績（損益計算書）

給水収益の減少などにより収益が減少したこと、電気料金の高騰などに伴い維持管理費が増加したことなどにより、当年度純利益は1,516百万円となり、前年度の純利益と比較して733百万円の減少となった。

(単位：百万円)

区分		令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益	a	9,580	9,421	△160
	うち給水収益	9,538	9,353	△185
営業費用	b	8,074	8,786	711
	うち維持管理費	4,043	4,804	760
	うち減価償却費	4,020	3,947	△73
営業損益	c=a-b	1,506	635	△871
営業外収益	d	1,093	1,198	106
営業外費用	e	360	309	△51
経常損益	f=c+d-e	2,239	1,524	△715
特別利益	g	10	3	△7
特別損失	h	0	12	12
当年度純利益	f+g-h	2,249	1,516	△733
総収益	a+d+g	10,683	10,622	△61
総費用	b+e+h	8,434	9,106	672

### (3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、建設改良事業による有形固定資産や現金・預金が増加する一方、減価償却による無形固定資産の減少などにより、前年度と同程度となった。

負債は、企業債の減少などにより、2,486百万円減少した一方、資本は、当年度純利益を計上したことや一般会計出資金を資本金に繰入れたことなどにより、2,579百万円増加した。

（単位：百万円）

区分		令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
資産 の 部	固定資産	114,061	113,780	△281
	うち有形固定資産	89,931	90,598	667
	うち無形固定資産	23,996	23,131	△864
	流動資産	23,657	24,031	374
	うち現金・預金	22,165	22,756	591
	資産合計	137,718	137,810	92
負債 の 部	固定負債	15,336	13,373	△1,963
	うち企業債	14,021	12,046	△1,975
	流動負債	5,388	5,149	△239
	うち企業債	2,098	1,975	△123
	繰延収益	22,807	22,523	△284
	負債合計	43,531	41,045	△2,486
資本 の 部	資本金	69,546	71,790	2,244
	剰余金	24,578	24,976	398
	うち資本剰余金	3,830	4,102	272
	うち利益剰余金	20,748	20,874	126
	うち建設改良積立金	14,803	12,731	△2,072
	うち未処分利益剰余金※	5,945	8,142	2,197
	評価差額等	63	0	△63
	資本合計	94,187	96,766	2,579
負債・資本の合計	137,718	137,810	92	

※未処分利益剰余金8,142百万円のうち、2,144百万円を資本金への組入及び建設改良積立金として処分予定。

### (4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は116.8%であり、健全経営の水準とされる100%を上回った。

料金水準の妥当性を示す料金回収率は112.9%で、給水に係る費用を給水収益で賄うことができた。

（単位：％）

区分	令和3年度 A	令和4年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	126.5	116.8	△9.7
料金回収率	125.2	112.9	△12.3

### 3 流域下水道事業

#### (1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	9,530	8,984	546	-	-
	支出	9,506	8,879	627	-	627
	差引	24	105	-	-	-
資本的収支	収入	3,857	3,007	849	-	-
	支出	4,701	3,925	775	663	113
	差引	△844	△918*	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額918百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

#### (2) 経営成績（損益計算書）

電気料金の高騰に伴い維持管理費の増加などにより費用が増加したものの、市町からの維持管理負担金が増加したことなどにより、当年度純利益は79百万円となり、前年度と比較して21百万円の増加となった。

(単位：百万円)

区分		令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益	a	4,498	4,909	410
	うち維持管理負担金	3,533	3,903	370
	うち他会計補助金	798	855	57
営業費用	b	7,800	8,200	400
	うち維持管理費	3,690	4,077	387
	うち減価償却費	4,085	4,088	3
営業損益	c=a-b	△3,302	△3,291	11
営業外収益	d	3,609	3,563	△46
	うち長期前受金戻入	3,281	3,293	12
営業外費用	e	252	217	△35
経常損益	f=c+d-e	56	55	△1
特別利益	g	3	91	88
特別損失	h	0	67	67
当年度純利益	f+g-h	58	79	21
総収益	a+d+g	8,110	8,563	453
総費用	b+e+h	8,052	8,484	432

### (3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、有形固定資産の減価償却などにより、前年度に比べて1,762百万円減少した。

負債は、繰延収益の減少や企業債の減少などにより、1,841百万円減少した一方、資本は、当年度純利益を計上したことにより、79百万円増加した。

（単位：百万円）

区分		令和3年度決算 A	令和4年度決算 B	前年度比較 B-A
資産 の 部	固定資産	124,404	122,617	△1,787
	うち有形固定資産	124,362	122,575	△1,787
	うち無形固定資産	2	2	0
	流動資産	2,550	2,575	25
	うち現金・預金	2,280	2,075	△205
資産合計		126,954	125,192	△1,762
負債 の 部	固定負債	13,069	12,269	△799
	うち企業債	12,823	12,075	△748
	流動負債	2,821	2,864	43
	うち企業債	1,292	1,309	17
	繰延収益	71,021	69,936	△1,085
負債合計		86,911	85,070	△1,841
資 本 の 部	資本金	11,404	11,404	0
	剰余金	28,639	28,718	79
	うち資本剰余金	28,390	28,390	0
	うち利益剰余金	249	328	79
	うち未処分利益剰余金	249	328	79
資本合計		40,043	40,122	79
負債・資本の合計		126,954	125,192	△1,762

### (4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は100.7%であり、健全経営の水準とされる100%を上回っている。

（単位：%）

区分	令和3年度 A	令和4年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	100.7	100.7	0